

1 年間入場者数 10 万人を目標設定

施設の特徴を活かし、柔軟に顧客のニーズを取り入れながら多目的に利用いただく事業展開と施設提供に取り組みます。

水上スポーツの振興 気軽に始めるスポーツ人口を増やしスポーツ実施率向上の実現	目標達成に向けた5つの具体的方針	競技普及への貢献 カーヌ・スラローム競技の普及、選手の育成に協力、利用の促進
愛好家の拡大 トップ選手の技術を体験、「みる・する・支える」、愛好者を増やす	周辺連携 施設周辺来園者への利用促進と地域との連携事業への取組み	多目的利用 施設を活かした利用促進と地域や社会で施設の知名度向上

来場想定を立て、年間入場者数10万人達成に向けて確実に取り組みます

大会	強化練習	水難訓練	個人利用	事業参加者	イベント	ユニークベニュー	地域来場者
5,000	6,600	300	20,600	10,000	3,000	4,300	50,200

3 競技力向上を目指す活動拠点の役割

競技者と利用者がそれぞれの目的で活動できる場とサービスを提供することで相乗効果をもたらします。競技者の競技力向上の場を確保しながら一般利用者との両立を維持します。

強化拠点 **国際大会** **注目**

国際大会受付時期検討
優先利用の予約手順を工夫し特例として確定時期を早める対応方法を協議・検討。

一般利用との両立
レジャーとの共同利用時以外に競技専用利用などの時間を設け利用しやすい施設を目指す。

大会サポート
当社専門部署派遣によるサポートで快適なスポーツ空間実現。

強化拠点 **国際大会** **注目**

国際競技力向上

機会増加 トレント選手 早期発掘

新たな感動創出 競技の裾野拡大

国内レベルカアップ

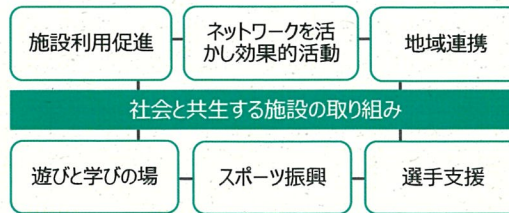
国際大会でメダル獲得

施設の基本方針

日本初の人工カーヌ・スラローム施設の特徴を最大限に活かします。東京 2020 大会レガシーとして、社会に有効な施設として活用し、発展し続けることが出来るよう効果的で効率的な、施設運営・維持管理を行います。その中で、葛西臨海公園をはじめとする周辺施設や地域、関係組織と連携し、多目的な活用を図り、にぎわいを創出します。また、都立スポーツ施設と連携し、多様なスポーツ体験を提供するとともに、大会の誘致、練習会場として活用を競技団体と連携しながら進めることで、国際競技力の向上、競技の普及を目指します。



効率的・効果的運営管理



都民にかけがえのない価値を提供し、一人一人が健康で豊かに暮らせる東京を実現

6 ユニークベニュー利用を積極的に誘致し、多目的利用を促進

水上スポーツ施設として他にはないスポーツの楽しみや学び、更には水の力による演出を最大限生かし、PRすることで可能性を引き出し、誘致を積極的に行います。

- テレビ (ドラマ・CM) 等のロケ地、雑誌や書籍のメディア媒体に向け魅力発信
- 水を利用した環境学習、企業研修の場としての認知度を高め利用の向上
- 葛西臨海公園エリアの立地と景観を活かしたコンサートや各種イベントの誘致

葛西臨海公園ではオリンピック施設であるカーヌ・スラロームセンターや駅高架下パークアウトドア施設 Ff ができ、公園エリアの魅力が向上しています。景観を活かしたイベント実施には絶好のスポットとして注目を浴びている中、エリア一丸となり誘致活動を推進します。

2 競技団体との連携で各大会誘致を目標設定

競技団体と協力して大会を積極的に誘致し主催者と協議の上、大会時に集客イベントを実施し、大会を盛り上げます。トップクラス選手の技術を身近に感じる機会を通じ、人々に新たな感動を実感できる場を創出します。

- ①さまざまな競技大会の誘致
- ②競技団体との連携
- ③専門性の高いスタッフによるサポート
- ④地元競技団体との連携
- ⑤大会情報の発信



4 水上スポーツ・レジャーのスポーツ振興に貢献

施設の優れた機能や魅力を最大限活用し水辺を中心としたスポーツ振興事業を実施します。また、さまざまな世代が楽しめる場を創出し、「健康・体力の維持推進」「生涯スポーツの振興」「生活の質向上」に寄与します。

各ターゲットに向けた振興事業

子ども 教室や学習	女性 仲間と体験	働き世代 非日常の動機	障がい者 水辺体験	指導者 育成と習得
--------------	-------------	----------------	--------------	--------------

Step1 → **Step2** → **Step3** → **Step4**

体験機会集客イベント 愛好者の拡大 競技者の拡大 地元からメダリストを輩出

5 施設の魅力を国内外に向かって情報発信

施設の魅力を届けるため、多様な広報・広告媒体を用いて戦略的に発信します。また、イベント時のマスコミ周知や、施設特性や専門スタッフの積極的な撮影協力、への登録など目的利用をPRします。

多様な媒体を用いることで多世代や人種など様々な方を想定し情報発信拡散します

地域プロモーション	WEB	パンフ・チラシ旅行誌・情報誌
テレビ・ラジオ等メディア	SNS	東京都広報ツール

- 誰もが閲覧しやすい魅力あるホームページ
- アクセスしやすいサイト構成とメリットを得られる情報の提供、また海外からの利用者を想定し外国語対応します。
- SNSを通じ即時性のある情報を発信
- 効果的なプロモーション実施のための効果測定・結果検証し、運用します。

7 施設の効率的運営と事業内容の効率稼働

これまでの施設運営で蓄積したノウハウや、構築した関係団体との万全の連携体制を最大限活用し、本施設を余すことなく効率的に活用します。安全・安心を第一に利用者にとって最適な利用環境を提供します。

利用の調整業務	多目的での利用を想定し、事前に競技コースの利用スケジュールを作成し、公表
コース予約検討	競技コースの運営はランニングコストが高いため、開場時間内において利用枠を設けて予約制とし利用の集約を検討・協議
冬季の効率稼働	利用を集中させ、揚水ポンプを効率稼働させる冬期開場期間中の曜日休場、但し利用予約状況により柔軟に対応

個人利用枠の一例

利用形態	1セッション	1日回数	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
CSゲートあり	60分	3セッション	①						② ③		
共用ゲートなし	90分	3セッション	①		②		③				

スポーツの機会を積極的に提供する魅力ある事業の展開

ラフティングツアーの充実

ラフティング事業を自主事業の大きな柱として捉え、利用者の目的に合う様々なプログラムを提供します。チームビルディングで企業研修にも対応します。

魅力的なラフティングツアーの運営

ツアーガイド育成・確保

確実なレスキュー体制の構築



習熟度に応じたカヌー事業

カヌーをはじめの方へ向けた初心者カヌー教室から、競技コースを下れるようになる上級者向け教室まで習熟度に応じた教室を開催します。

各競技団体と連携した教室実施

習熟度に応じた段階的な教室

継続したカヌー参加への環境創出



ロケーションを活かしたスポーツ事業

施設特性や立地条件を活かし、テラスを利用した屋外ヨガ教室など、水上だけでなく、陸域を使用した事業を企画、実施していきます。

開放的なロケーションの活用

陸域を使用した事業の企画

誰もが気軽に訪れる場所の創出



多様な体験教室・新たなレクリエーション

ラフティング事業やカヌー事業に加え様々な体験教室を実施します。また既存のレクリエーションを組み合わせ、新たなレクリエーションを創出します。

課外学習・修学旅行での活用

新たな水上レジャーの情報発信

専門団体と連携し安全確保



周辺施設と相乗効果をもたらす協力的事業

旅行会社からのヒアリングにより本施設を団体利用する場合、飲食へのニーズが高いとの声があります。葛西臨海公園内の飲食施設と連携し、人数や予算に合わせ飲食をセットしたラフティングツアーを提供します。

園内でも人気の高い観覧車や、水族館などの連携チケットをつくります。連携施設と対象利用者が重なる水上遊具や遊覧ラフトなどの割引をし、連携する施設・利用者への利用促進事業とします。



葛西臨海公園をはじめとする近隣施設や地域、競技団体、都立 18 施設と連携し、スポーツの日記念事業を通して、カヌー・スラロームセンターだけでなく、地域、全都で相乗的に、都民のスポーツを「する」「見る」「支える」機会の創出をし、更なるスポーツ機運を高めることに貢献します。

18 施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮

多様なスポーツ体験を提供

大規模な競技大会から都民のスポーツ実践まで幅広い活用

スポーツ、エンターテインメントなど多様な活動の場

障がい者のスポーツの拠点

水上競技の紹介・関心	レジャー参加へのきっかけ創出	水辺の安全への啓蒙活動
協議会の開催で選手・愛好家の発表の場の創出		にぎわい創出

ラフティングツアーガイド育成と安全運行の実施

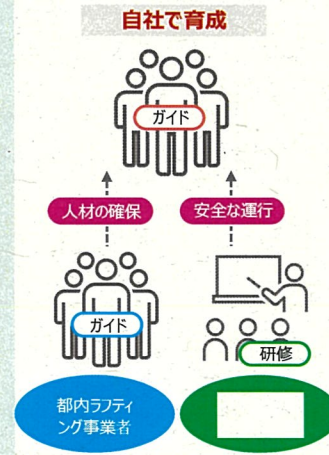
ガイド育成と人材の確保

自社でガイドの取りまとめを担当する部門を設置し、ガイドの育成に努めます。また、都内ラフティング事業者と連携し、繁忙期や閑散期に応じたガイドの人材の要請を可能とすることで、ガイド数を確保します。

専門事業者と連携した安全研修

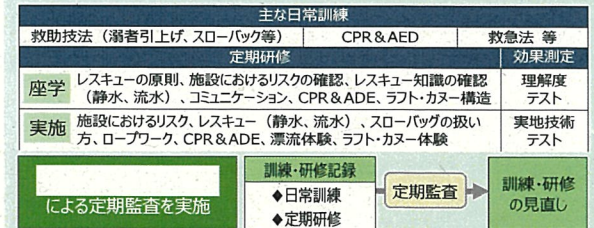
ラフティングツアー運行にあたっては、事前にガイド技能に達した、ガイドによるツアーを実施します。実際に競技コースに出る前の安全研修や、沈没時のレスキュー体制など万全を期し運行します。

ガイドの確保と安全な運行

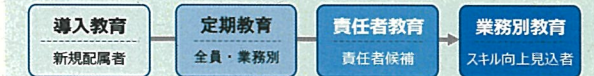


施設特性に対応した訓練の実施

急流の人工コースに特化したカリキュラムを組んで教育を実施し、訓練記録を整備します。教育プログラム・マニュアルの作成は、担当者の監修を受け急流に対応した研修を実施します。

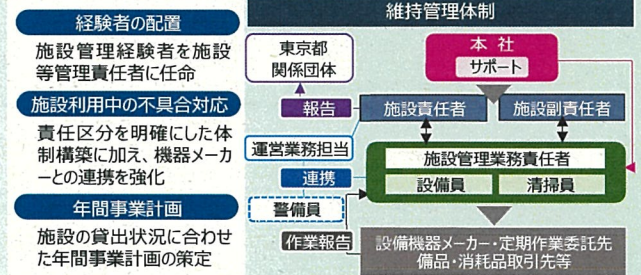


職員の習熟度や技術等に合わせて、新規配属時から研修を段階的に実施します。



管理経験に基づく安定稼働に繋げる維持管理

本施設の施設管理経験者を配置し、仕様書に準拠し機器類に適した管理方法で施設の安定稼働に努めます。



水中ポンプの危機管理
コア設備である起流ポンプ、揚水ポンプは支障が生じた場合に営業停止に繋がるため、日常点検に加え、換水メンテナンス時にメーカーによる定期点検を実施